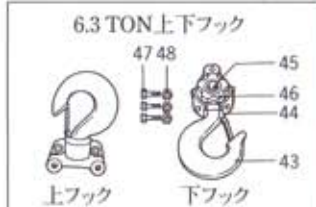
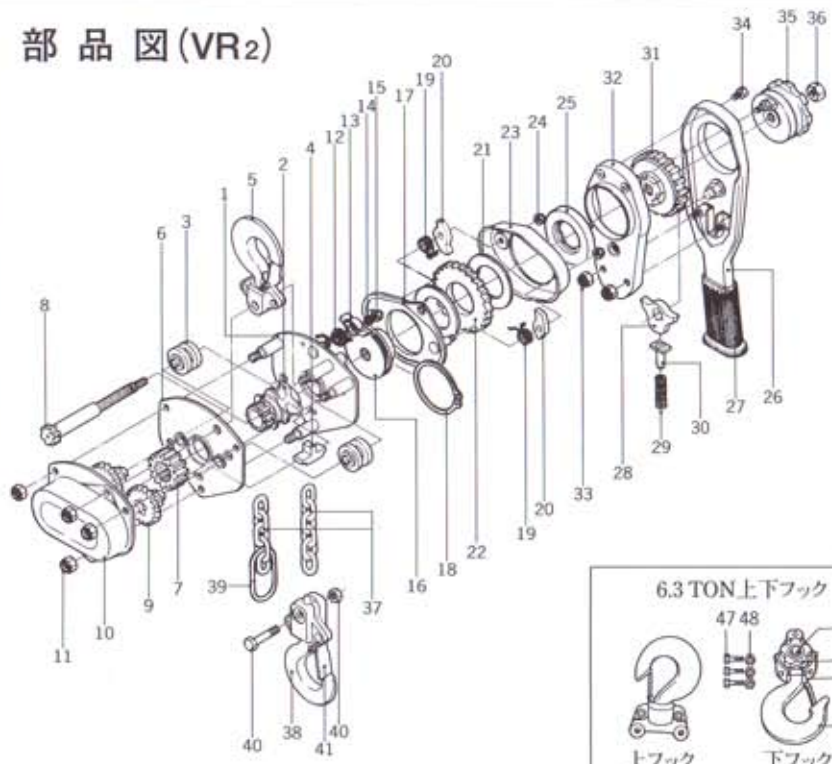


# 部品図(VR2)



組番	部品名	部品番号	員数	組番	部品名	部品番号	員数
1	ガワイタ1組	L101a	1	22	ラチェットギヤー	L303	1
2	ロードシープ	L203	1	23	ブレーキカバー	L105	1
3	ガイド	L109	2	24	ブカナット	L912	2
4	ケリ	L110	1	25	オシフ	L313	1
5	上フック組	L701a	1	26	レバーホンタイ組	L414a	1
6	ガワイタ2組	L102a	1	27	グリップ	L430	1
7	G1ギヤー	L206	1	28	キリカエツメ	LNA402-08	1
8	ピニオン	LV220	1	29	オシバネ	L405-A	1
9	G2.3ギヤ1組	L207a	2	30	オシピン	L404-A	1
10	ギヤカバー1組	L108a	1	31	キリカエギヤー	L427	1
11	ギヤカバーナット	L911	4	32	レバーカバー組	L417a	1
12	ホジバネ	L425	1	33	レカナット	L913-A	2
13	ホジツメ	L424	1	34	レバーボルト	L419-A	2
14	ホジワッシャー	L423	1	35	ニギリワ	L428	1
15	ホジナット	L912	1	36	ピニオンナット	NS-10	1
16	ハブ	LV314	1	37	ロードチェーン	L820	1
17	ホジタ組	L422a	1	38	下フック組	L709a	1
18	ハブ用SR	L421	1	39	エンドリング	L746	1
19	ブレーキバネ	L305	2	40	ロードチェーンボルト組	L705a	1
20	ブレーキツメ	L304	2	41	安全金具	L740a	1
21	ブレーキパン	L302	2				
<b>6.3 TON下フックの部品</b>							
43	フック	L701	1	46	コマ	L725	1
44	ワク	L721	2	47	ワクボルト	L922	3
45	ジク	L726	1	48	ナット	UN-10	3

# バイタルのVレバー取扱説明書

## 8つの安全厳守事項

○本取扱説明書は大切に保管して下さい。

**警告** レバーホイスは重量物を扱う関係上、安全対策をおこなると品物の破損とか、生命をなくする危険があります。万一事を考慮して慎重にお使い下さい。

①表示トン数以上の荷重を加えないこと。  
レバーを故意に長くして使用しないこと。

②オーバー荷重操作をして、部品に変形が生じたものは使用しないこと。

③上下フックとチェーンが曲がらずに一直線になるように使うこと。

④上下フックとチェーンにショック的圧力がかかる使い方はしないこと。

⑤チェーンがねじれたり、キンクしたまま使用しないこと。

⑥巻き上げすぎ、巻き下げすぎをしないこと。

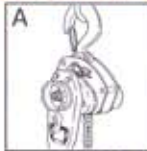
⑦ホジツメが完全にホジタを保持している状態で使用する事。

⑧2丁づりはしないこと。

## 使用の順序

- ①チェーンに軽く油を塗って、リンクの動きをよくし、ねじれないようにします。
- ②フック、チェーンにムリのないよう直線的に取付けて下さい。(前頁注意事項3参照)

### 正常な使用状態

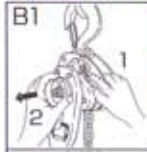


ホジツメが完全にホジタの外側からホジタを押さえている状態を確認してから使用して下さい。

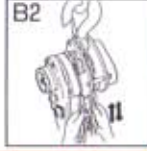
- ③チェーンの長さを調節する方法

### 空転の開始

(事前注意) 吊り側に、荷とか、チェーンの自重が大きくかかったままの状態では操作しないで下さい。

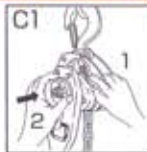


B1.1. ホジツメを指で下にあたるまで、押し下げたままで、  
2. ニギリワを外側へ引きます。

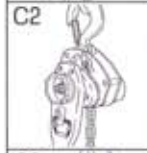


B2. 押している指を離すと、ホジツメは側板とホジタの間におさまります。チェーンを引けばチェーンは上下どちらへでも自由に調節できます。

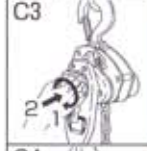
### 空転の解除



C1.1. ホジツメを下にあたるまで押しながら、  
2. ニギリワを軽く内側へ押しします。



C2. このことはホジツメがホジタの外周にあたる状態を意味します。



C3.1. 次にニギリワをつかんで、少し時計方向にまわしながら  
2. 内側へ押し込みます。ホジツメが自動的にホジタの外側へ、おさまります。

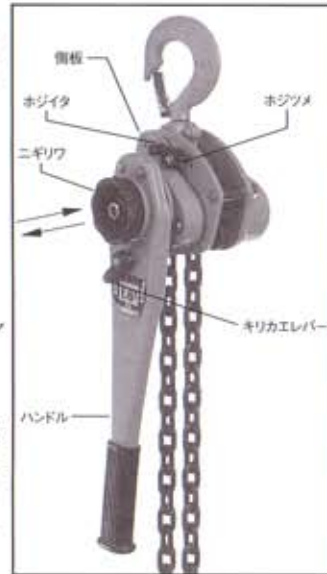
(注意) 入らないのを無理に押し込もうとすると、ギヤがかけたりします。入らない時は再度やり直して下さい。



C4. ホジツメがホジタの外側からホジタを押さえる位置にもどったことを、必ず確認して下さい。即ちA.「正常な使用状態」にもどして下さい。

注意1. 軽い荷を2~3回少し上げ下げして、ブレーキにすべりのないことを確認して下さい。  
注意2. ニギリワの回転遊びが大きければ、次頁整備と点検6によりブレーキ調整して下さい。  
注意3. ハンドルを動かす手引力によって使用機種の揚量をきめて下さい。

定格荷重 (t)	0.8	1	1.6	3.2	6.3
(kgf)	15	20	18	38	39
手引力 (N)	147	196	177	373	382



## 使用後の処理

- ①必ず空転解除の状態にしておいて下さい。
- ②汚れや水気をよくふきとり、チェーン、フックの回転部分、ホジツメ軸等に油を塗っておいて下さい。
- ③格納は湿気のない所に吊るしておいて下さい。

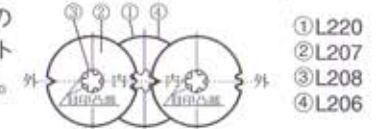
## 分解組立の仕方 (次頁部品図を参照)

- ①チェーンのはずし方: エンドをはずし空転の状態にして抜きとります。
- ②ハンドル、ブレーキ部の分解: 部品図の右端から順番に分解していきます。
- ③ギヤ部、中央部の分解: 部品図の左端から順番に分解していきます。
- ④組立: 部品図の番号順に組立していきます。

## 整備と点検の仕方

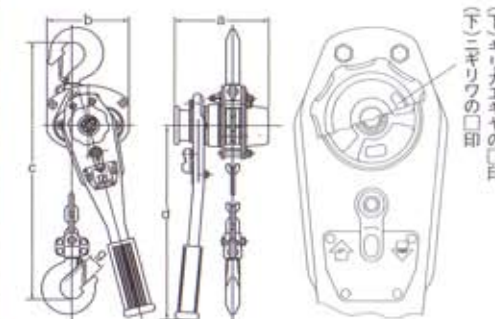
変形 (伸び、キズ、マモ、ワレ、曲り等) があれば必ず部品交換をして下さい。

- ①分解①により、チェーン、エンド、下フックに変形がないか確認して下さい。
- ②分解②により、ハンドル、ニギリワ、オシワ、ブレーキバン、ホジタ、ハブ等に変形がないか。また空転操作した場合ホジタ、ホジツメが必要以上にガタついていないかどうかを確認して下さい。
- ③分解③によりギヤカバー、ギヤ、ガワイタ1、上フック、フックピン、ガイド、ロードシープ、ケリ、ガワイタ2に変形がないか確認して下さい。
- ④組立に際して、各部品を洗油等でよく洗って下さい。回転部分には注油して下さい。ギヤの組合わせは、第2ギヤスプライン部にある2つの目印の中央線上の特定歯が、ピニオンをはさんで0.8トンは内内、3.2トンは内外、になるようにして下さい。外 ①L220 ②L207 ③L208 ④L206 1.6トンは位置自由です。
- ⑤2枚のブレーキバンと、その両面に接触するマサツ面には、適当に塗油して下さい。
- ⑥ブレーキ調整の仕方: ニギリワをはずし、キリカエレバーを中央にして、フックのついている側のチェーンを下げ方向に強く手で引っばると、ブレーキがよく締った状態になります。次のキリカエギヤの□印のところに、ニギリワの凸部 (ニギリワにも□印があります。) が重なるようにニギリワをはめて下さい。



## 仕様書 (数値は変更されることがあります)

略号	VRz-08	VRz-10	VRz-15	VRz-30	VRz-60
定格荷重 (t)	0.8	1	1.6	3.2	6.3
標準揚程 (m)	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
自重 (kg)	6.9	7.1	9.7	16.3	26.7
フック間最短 (mm)	295	310	335	405	550
手引力 (kgf)	15	20	18	38	39
(N)	147	196	177	373	382
チェーン線径 (mm)	6.3	6.3	7.1	9.0	9.0
a (mm)	148	148	163	191	191
b (mm)	128	128	148	181	244
c (mm)	295	310	335	405	550
d (ハンドル長さ) (mm)	256	256	368	368	368
e (mm)	27	30	34	43	47



(下)キリカエギヤの□印  
(下)ニギリワの□印

●揚程はご要望により変更いたします。